

2024 年度事業計画

社会福祉法人 神戸聖隷福祉事業団
施設名 恵生園
施設長 掃部久美代

恵生園、グループホームめぐみの基本方針

1. 私たちは ご利用者の人権を尊重し自ら選んで決めていただけるサービスを提供します。
2. 私たちは ご利用者が生き生きと喜びをもって生活できる施設を目指します。
3. 私たちは 自ら率先して話し合える職場づくりに努めます。
4. 私たちは まちの声に応え 地域に貢献できる施設を目指します。

放課後等デイサービスめぐみの基本方針

1. こども達一人ひとりの個性を大切にし、豊かな育ちを支えます
2. こどもと保護者に寄り添い、成長を喜び合うことができる施設を目指します
3. こども達の未来のために、地域に愛される施設を目指します

第5期中期計画のビジョン

私たちは、多様化する利用者の障害特性に応える為の対応力を身に付け、利用者一人ひとりが生活しやすい施設作りを目指します。

2024 年度の事業計画について

第5期中期計画の1年目を振り返り、計画実施できていない点を含め、2年目は財務の視点、業務プロセスの視点を中心に計画していきたいと思えます。

財務の視点は、利用定員維持による安定した事業収入の確保として、自施設や近隣の相談支援事業所、行政、病院へ情報収集を行い、利用者確保に向けた営業活動計画的に実施し、真生園と今後に向けたあり方についても連絡会を開催して検討していきます。

業務プロセスの視点では、役割を明確にした業務推進リーダー配置による職員の育成として、主任をサポートできる人材育成や現場からの意見を収集しやすい環境作り、次の主任・副主任としての期待も含めより明確な役割を与えて、人材育成を目指します。もう一つの業務プロセスの視点として、高齢化・重度化に対応した環境設備の整備は、利用者の皆さんがこれまでよりも負担が少なく、安心・安全な生活ができるよう、また、看護師、作業療法士、生活支援員と多職種で共有し、環境整備をよりよく改善していきます。そして、施設内の危険箇所を把握し、必要な対策を講じることで事故、ヒヤリハットの発生率を減らしていきたいと思えます。地域生活支援拠点を考えていく中で、相談支援事業所の役割や地域における連携体制を考えていき、また、地域移行に向けた動機付け支援として、グループホーム等の見学会や地域活動への参加を積極的に行っていきたいと思えます。

1. 事業概要

開設年月日：1976年6月1日

種別（定款）	事業名	定員	主たる対象者	事業開始年月日
障害者支援施設（第1種）	施設入所支援	60名	身体・知的障害者	2008年4月1日
障害福祉サービス事業（第2種）	生活介護	60名	身体・知的障害者	2008年4月1日
障害福祉サービス事業（第2種）	短期入所	3名	身体・知的障害者	2006年10月1日
相談支援事業（第2種）	特定相談支援	－	障害者	2013年3月1日
	障害児相談支援	－	障害児	2022年4月1日
公益事業	介護予防等拠点事業 （あったかプラザ）	－	－	2003年10月1日
障害福祉サービス事業（第2種）	共同生活援助	6名	身体・知的障害者	2021年4月1日
障害児通所支援事業（第2種）	放課後等デイサービス	10名	障害児	2021年4月1日

(1) 学習と成長の視点

重点実施項目	実行計画	2024年度計画	目指す成果
新規雇用者の確保と離職予防	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる機会を活用した職員採用 年間を通じたフォローアップ面談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①採用活動の実施 ②職員面談の実施（2回/年） 	適正な職員確保と職場定着
管理職と現場職員のコミュニケーション充実	支援現場の抱える課題についてのミーティング実施	<ul style="list-style-type: none"> ①支援ミーティングの実施（毎月） ②業務推進リーダーを中心に職制職員へ情報共有し、支援現場が抱える課題の把握と対応 	何でも相談できる風通しの良い職場環境
基礎的な介護技術の習得	介護技術力向上のための研修受講と内部研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ①研修の情報収集 ②施設内外の研修の受講 ③内部（伝達）研修の実施（毎月） 	利用者支援・介護力の向上
接遇の向上	接遇力アップのための研修受講と内部研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ①研修の情報収集 ②施設内外の研修の受講 ③内部（伝達）研修の実施（毎月） 	満足度調査における接遇力の評価向上
職員レベル（経験・技術）に応じたOJTの仕組み構築	段階（経験・技術）を経たOJTの仕組みを作る	<ul style="list-style-type: none"> ①OJTマニュアルの作成 ②職制者にてOJT職員を育成（2名） 	OJTを行う職員育成

(2) 業務プロセスの視点

重点実施項目	実行計画	2024 年度計画	目指す成果
役割を明確にした業務推進リーダー配置による職員の育成	OJT を通じて中堅職員を育成し、主任をサポートできる人材を育成する	①業務推進リーダーの役割の明確化と明文化 ②業務推進リーダーへの OJT の実施	業務推進リーダー配置
高齢化・重度化に対応した環境設備の整備	居住環境向上の為の環境設備整備実施	①必要な環境設備の検討と整備に向けての計画策定 ②必要な設備の設置、用具の購入と活用	利用者状況に応じた環境設備の整備

(3) 顧客の視点

重点実施項目	実行計画	2024 年度計画	目指す成果
支援体制見直しによる安全最優先のサービスの提供	業務改善委員会を中心に現状の支援体制を見直す	①現状に合った支援体制へ整備 ②業務課題の見直し	安全最優先のサービス提供
業務内容見直しによる利用者個別支援時間の確保	利用者個々に応じた支援マニュアルの作成	①個別支援マニュアルの活用（情報共有）と見直し ②マニュアルに沿った個別支援の実施	利用者個別支援の充実
データ分析・検証による頻回に起こるヒヤリハット・事故の予防	ヒヤリハット・事故報告をしっかりと分析し、頻回に起こるリスクを予防する	①事故検証会議の実施（毎月） ②ヒヤリハット・事故集計結果の分析と対応策の検討と統一した支援の実施	事故・ヒヤリハット件数減（対前年比 20 件減）
満足度調査を反映したサービスの提供	満足度調査の結果を分析し、調査結果をサービス提供に繋げる	①満足度調査の実施（1 回/年） ②調査結果の分析と対応策の検討と実施	利用満足度のアップ（全項目平均利用満足度指数 70%以上）

(4) 財務の視点

重点実施項目	実行計画	2024 年度計画	目指す成果
利用定員維持による安定した事業収入の確保	利用定員を維持し、入所待機者を確保する	①自施設や近隣の相談支援事業所、行政への情報収集(毎月) ②短期入所利用者を積極的に受け入れ、入所待機者を確保	予算計上する事業活動収入の達成
収支を意識した啓発活動推進によるコスト削減	光熱水費のコスト削減に向けた取り組み実施	①巡回による不要な電気使用の削減 ②適正な電気機器使用の啓発	コスト削減目標値(対前年比 5%減)の達成
計画的な積立金の計上	機能維持等に必要の積立金確保	①利用定員確保による収入の維持 ②光熱水費削減対策による支出の減少	積立目標額(2000万円)の達成

(5) 地域公益の視点

重点実施項目	実行計画	2024 年度計画	目指す成果
地域との連携強化	「あったかプラザ」や「めぐみ」での行事を企画し交流を深め、地域との連携を強化する	①「あったかプラザイベント」の実施(2回/年) ②「めぐみ」の見学会や体験会等の計画と実施	地域との積極的な交流を通じた連携強化
地域ニーズへの対応	地域の方を対象に相談会を行い、ニーズに応じた具体的なサービスにつなげる	①「あったかプラザイベント」の実施(2回/年) ②「めぐみ」の見学会や体験会等の計画と実施	地域から気軽に相談いただける関係づくり